

小規模・高齢化集落支援モデル事業の取組事例

1. 協議会の概要

(平成21年12月作成)

協議会名		ゆすたに 遊子谷地区集落連携促進協議会	
構 成 員	市町村名	愛媛県西予市	
	協定集落名	下遊子集落	9名
		平岩1集落	9名
		平岩2集落	12名
	小規模・高齢化集落名	上川集落	8名
		泉川集落	13名
	その他構成員	南平集落	12名
		日浦集落	22名
		遊子谷総務区	15名
		奥伊予の里	8名
富永建設(有)		6名	
対象農用地面積	田	畑	草地等
上川集落 3.9ha	3.1ha	0.8ha	-
泉川集落 4.7ha	0.5ha	4.2ha	-
交付金額(総事業費)	水路、農道等保全管理支援事業 支援活動推進事業		66.0万円 4.0万円
	70.0万円		

2. 実施地区の概要

■ (位置と地勢)

西予市は、愛媛県南部に位置する、豊かな緑に覆われた美しい山々と、青く、深く広がる海、そのような広大な大地の中で、多彩な自然を持ち合わせたまちです。

海拔0メートルから1400メートルという標高差と、山と川が入り組んだ多様な気候と風土に満ち溢れる自然豊かな地「西予市」は、総面積が514.79平方キロメートル。そのうち約6割を山林が占めています。



本事業の実施地区である城川地区は、高知県との境を接する四国山地に抱かれ、伊予の国のもっとも奥まったところにあることから、「奥伊予」のネーミングと「わがむらは美しく」を理念にまちづくりを進めています。

■ (人口と世帯)

人口は、2009年11月末現在、西予市全体で43,837人(うち城川地区4,163人)、65歳以上の人口は15,701人(うち城川地区1,844人)で、高齢化率は県下平均の25.6%を大きく上回る35.8%(城川地区44.3%)となっています。

世帯数は、2009年11月末現在、西予市全体で18,611世帯(うち城川地区1,722世帯)です。

■ (主要産業等)

県下でも広大な土地を有する西予市は、広さに比例して伝統的文化的特性から産業的な特性に至るまで、多彩な顔を持っています。各地域には歴史的建造物や古墳群など数多くの文化遺産のほか、民俗芸能や伝統行事が保存・継承されています。また、特産品は愛媛の代表みかんのほか、魚介類、米、ぶどう、栗、乳製品、牛肉類など、四国一ともいえる多品目産地でもあります。

本事業の実施地区である城川地区では、林業を中心に、農産物では肉用牛、トマト、栗、ユズは県下屈指の生産額となっています。

現在、西予市では中山間地域等直接支払制度を実施(協定数:185協定、加入農地面積:約2,147ha)するとともに、農地・水・環境保全向上対策事業にも取り組んでいます。

■ (城川地区(旧城川町)について)

城川地区(旧城川町)は、西予市の東に位置し、高知県との境にあります。当地区の中央を黒瀬川が流れ、その川沿いに国道197号線が走っていますが、集落は、黒瀬川の支線である野井川、三滝川、魚成川に点在する山間地域です。

平成16年4月1日、東宇和郡の明浜町・宇和町・野村町・城川町、そして西宇和郡三瓶町の五町との合併を経て、現在の西予市になっています。

■ (集落間の連携)

上川集落と泉川集落は、2009年11月末現在、世帯数21戸、人口49人、高齢化率63%であり、いわゆる「小規模・高齢化集落」ですが、急峻な当該農用地において、上川集落では水稻・トマト・栗を中心に、泉川集落では栗を中心に作付けし、限られた農地を守っています。しかし、高齢化が進み、人口・世帯数の減少に伴い共同作業が難しい状況にあります。

下遊子集落、平岩1及び平岩2の三集落は、中山間地域等直接支払制度に取り組む協定集落であり、下遊子集落は、世帯数12戸、人口32人、高齢化率53.1%の「小規模・高齢化集落」ですが、水路・農道等の維持管理の共同化に積極的に取り組み農地を守っています。平岩集落は、世帯数34戸、人口83人、高齢化率40.9%の「高齢化集落」ですが、集落内に標高の異なる団地があるため協定集落が二分されて

いるものの、農業機械の共同化に積極的に取り組み農地を守っています。

南平及び日浦集落は、世帯数45戸、人口105人、高齢化率45.7%の「高齢化集落」であり、農地も少なく非農家が多い集落ではありますが、農道等の管理は集落が一体となって取り組んでいます。

遊子谷総務区は、実施地区の行政区を取りまとめる組織であり、それぞれの集落の代表者で構成されており、地域の伝統行事の開催を始め集落間の調整機関となっています。

奥伊予の里は、西予市城川町を活動拠点として市より公園及び花壇等の管理・委託業務を受け作業を行っている団体であり、他地域においては、集落住民の要望により農道等の維持管理も行っています。

富永建設(有)は、当地区から勤務する者が多い地元の建設会社であり、大型機械が必要であったり危険が伴う作業において、支援体制を得ることができました。

■ (活動に至った経緯)

上川集落は、農地の分散、高齢化を理由に水路・農道等の共同作業が難しく中山間地域等直接支払制度に取組めない状況にあり、泉川集落は、高齢化等を理由に第2期から中山間地域等直接支払制度に取り組むことができなく、集落内の営農維持が困難な状況でした。

当事業の取り組みに際しては、事前に遊子谷総務区各区長及び協定集落代表を交え事業説明を実施したところ、協定集落から「作業時期が重なるため支援は難しい。」等の意見が出されましたが、協定集落代表者から「同じ遊子谷地区同士一緒に取り組もう。」との声上がり、遊子谷総務区総会に合わせて設立総会を開催し、事業の実施に至りました。

■ (活動経過について)

- ・平成21年3月15日、設立総会(第1回)を行いました(補助対象外)。
- ・平成21年5月 7日、第1回協議会を行いました。
- ・平成21年5月31日、水路の点検、水路の泥上げを行いました。(上川集落)
- ・平成21年6月 7日、水路の点検、水路の泥上げを行いました。(泉川集落)
- ・平成21年7月12日、水路・農道周辺の草刈りを行いました。(泉川集落)
- ・平成21年7月26日、水路・農道周辺の草刈りを行いました。(上川集落)
- ・平成21年8月 7日、ため池周辺の草刈りを行いました。(上川集落)
- ・平成21年9月27日、農道周辺の草刈りを行いました。(上川集落)
- ・平成21年10月17日、農道・ため池周辺の草刈りを行いました。(泉川集落)
- ・平成21年10月29日、農道の簡易補修を行いました。(上川集落)
- ・平成21年12月 5日、農道の簡易補修を行いました。(泉川集落)
- ・今後は、平成22年2月に協議会、平成22年3月に総会を行う予定です。

■ (活動に取り組んだ後の効果)

・事業実施前に比べ労働力が増加し高齢者の負担も軽減されたことから、高齢者も積極的に参加され、地域での保全活動に対し関心が増したように思います。

・集落の方からは「体が動く間は一緒に活動したい。」との声がありました。

3.活動実績等

上川集落での活動



水路の泥上げの状況

泉川集落での活動



協議会の開催状況



農道の草刈作業状況



農道の草刈作業状況



農道の簡易補修の状況



農道の簡易補修の状況